

第1回第3次かほく市総合計画審議会

議事概要

日 時：令和6年10月31日（木）15:00～16:02
場 所：かほく市役所2階 議会会議室

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 審議会委員委嘱状交付
4. 審議委員、事務局の紹介
5. 会長、副会長の選出
6. 諮問書提出
7. 審議案件について
 - ①総合計画策定の進め方と策定スケジュールについて
 - ②市民アンケート調査結果の概要について
 - ③意見交換
8. 事務連絡
9. 閉会

委員名簿

整理番号	選出組織・団体	職	氏名	出欠
1	かほく市商工会	会長	南 春夫	出
2	石川かほく農業協同組合	代表理事専務	村井 一宏	出
3	石川県立看護大学	教授兼附属図書館長 DX推進委員会委員長	小林 宏光	出
4	金沢学院大学附属高等学校	副校長	谷内 正樹	出
5	かほく市町会区長会連合会	会長	西田 省三	出
6	かほく市女性協議会	会長	松村 千恵	出
7	株式会社 北國銀行	公務部部長	山田 泰輔	出
8	金沢公共職業安定所	所長	佐々木 利弘	出
9	株式会社 P F U	取締役常務執行役員 地域貢献部部長	宮内 康範 松田 千穂	欠 代理
10	かほく市社会福祉協議会	常務理事	越井 謙一	出
11	かほく市	副市長	竹本 重久	出

議 事 概 要

○各委員、●かほく市事務局

1. 開会

2. 市長挨拶

- ・油野市長 挨拶

3. 審議会委員委嘱状交付

4. 審議委員、事務局の紹介

5. 会長、副会長の選出について

【会長選出】

- ・事務局から、会長は審議会委員から互選により選出する旨を説明した。
- ・委員から石川県立看護大学の小林教授を推薦する発言あり。
- ・他の委員から異議が無かったため、会長に小林委員を選出した。
- ・小林会長 挨拶

【副会長選出】

- ・事務局から、副会長は会長の指名である旨を説明した。
- ・小林会長が南委員を副会長に指名した。

6. 諮問書提出

- ・油野市長より小林会長へ諮問書を提出した。

7. 審議について

○総合計画と総合戦略の概要及び関連性について

- ・事務局より、総合計画と総合戦略の概要及び関連性について、会議資料に沿って説明。

○総合計画策定の進め方と策定スケジュールについて

- ・事務局より、総合計画策定の進め方と策定スケジュールについて、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委 員)

- ・基本構想はビジョンであって、基本計画はそれを実現するための個別の計画という理解でよいか。

(事務局)

- ・御理解のとおり。基本構想は理念の部分がほとんどだが、今回の計画では将来都市構造の部分をこれまでよりも深掘りしたいと考えている。

○市民アンケート調査結果の概要について

- ・事務局より、市民アンケート調査結果の概要について、会議資料に沿って説明。

【質疑・意見交換等】

(委員)

- ・高校生を対象としたアンケートはすごくユニークで面白いと思った。こういったアンケートを取ったことがすごくいいと思う。アンケートのなかで、「かほく市に戻りたいか」という項目があるが、実際に戻ってきている人数は把握しているか。

(事務局)

- ・正確な数字は持ち合わせていないが、企画振興課で実施している定住促進施策のなかで、転入者にはインセンティブを与える形となっているものがあり、その利用者を分析すると、多くがもともとかほく市在住で、学生、社会人となり一時的に市外、県外に転出されたが家を建てる際にかほく市へ戻ってきたというケースが多いことは把握している。

(委員)

- ・一般アンケートについて、回答はどの年代が多かったか。

(事務局)

- ・50-59歳の方が回答数の25%を占めており一番多かった。25%は男女含めての数字となっている。

(委員)

- ・重要度の高い項目の満足度を高めるための取組を考えているか。

(事務局)

- ・このアンケートの結果で、重要度が高く、満足度の低い項目をこれから重点的に市の施策として実施していかなくてはならないと考えている。

(委員)

- ・かほく市は、金沢市のベットタウンという側面もあり、高校、大学から就職で戻ってくるという人を受け入れるということももちろん多いと思うが、最近は転職をされる方も多く、そういったキャリア採用で市外、県外から戻ってきた方も住めるような施策も、次期の計画の中に入ってくればよいと思う。空き家対策も重要というアンケート結果も出ているので、これかも人口を増やし続けるために、そのようなところも絡めて考えていけば面白いのではないかな。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。総合計画の方では具体策をどこまで載せることができるか分からないが、総合戦略の方で個別具体の事業を挙げるなかで反映できるか整理していきたい。

(委員)

- ・高校生アンケートにおいて、県外居住の理由で「優良企業や有名大学があるから」という項

目の割合が多いが、県外に優良企業が多い事も分かるが、県内、市内の優良企業を知る機会が、高校生あるいは短大、大学生に不足しているということを懸念している。また、親世代もそういった情報を知らないこともあると思うので、例えば、学生、その親世代を対象としたかほく市の優良企業の個別ガイダンスなどを実施し、市内にもこんないい企業があるんだということを知ってもらい、進学で県外へ出ても就職の際に戻ってくるような筋道をつける工夫が必要なのではないかと感じた。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。企業のPRということを行政サイドからこういった形でお手伝いできるかといことはあるが、そのような取り組みも進めていければよいと思う。

(委員)

- ・アンケート結果について、年代別の回答状況が分かるような資料があると、計画に具体策を反映しやすいのではないか。

(事務局)

- ・本日の資料は速報版であるため、今後世代ごとの意見の違いなどが分かる資料を準備する。

(委員)

- ・感想になるが、高校生アンケートから最近の若い世代もSNSだけではなく、意外と地元のつながりを大切にしているのだなと感じた。

8. 事務連絡

9. 閉会

以上